

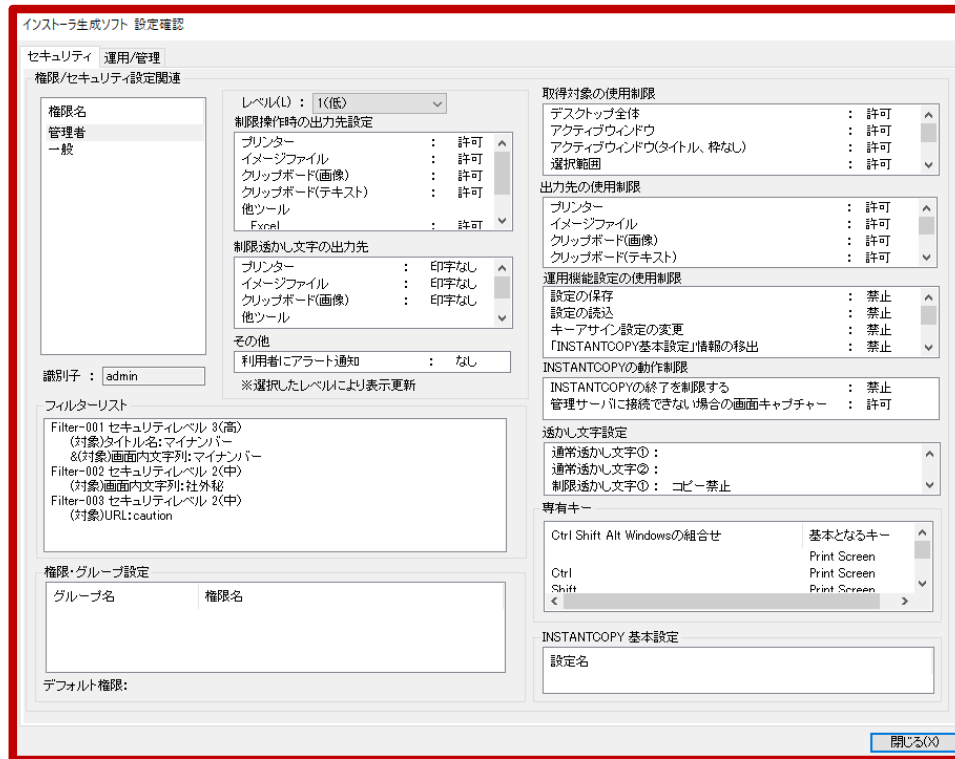
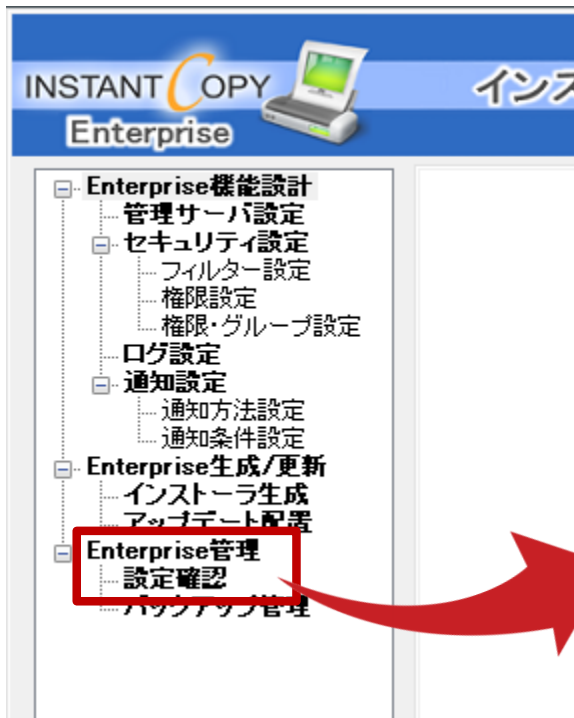
セキュリティ機能の設定値を確認してみよう (1/5)



Tips セキュリティ機能の設定値の確認方法をご紹介します。

【設定確認】

詳細メニューの「Enterprise管理-設定確認／セキュリティタブ」から、設定内容を確認できます。一つの画面で、権限ごとの設定内容を確認できるので、セキュリティ設定全体の把握に効果的です。



セキュリティ機能の設定値を確認してみよう (2/5)

権限名リストで選択されている **1** 「権限名」と、レベルで選択されている **2** 「セキュリティレベル」ごとに設定内容を確認できます。

「権限名」が確認できます。確認したい権限名を選択します。

レベルごとの「アクション設定」を確認できます。確認したいレベルを選択します。

「適用フィルター」を確認できます。

「使用制限設定」を確認できます。

「透かし文字設定」を確認できます。

「専有キー設定」を確認できます。

INSTANTCOPYの「設定の保存」機能で作成した「基本設定ファイル」を使用した場合に表示され確認できます。

「権限・グループ設定」画面で設定した場合に表示され確認できます。

権限名: 管理者

レベル(L): 2(中)

取得対象の使用制限	設定
デスクトップ全体	: 許可
アクティブウィンドウ	: 許可
アクティブウィンドウ(タイトル、枠なし)	: 許可
選択範囲	: 禁止

出力先の使用制限	設定
プリンター	: 許可
イメージファイル	: 許可
クリップボード(画像)	: 許可
クリップボード(テキスト)	: 禁止

運用機能設定の使用制限	設定
設定の保存	: 禁止
設定の読み込み	: 禁止
キーアサイン設定の変更	: 禁止
INSTANTCOPY基本設定情報の移入	: 禁止

透かし文字設定	設定
通常透かし文字①	: [設定]
通常透かし文字②	: [設定]
制限透かし文字③	: コピー禁止

専有キー	基本となるキー
Ctrl Shift Alt Windowsの組合せ	Print Screen
Ctrl Shift	Print Screen
<	Print Screen

権限・グループ設定	権限名
グループ名	
デフォルト権限	

セキュリティ機能の設定値を確認してみよう (3/5)

設定を変更する場合は、下記の手順もしくは製品添付のマニュアルをご参照ください。

The screenshot shows the 'INSTANT COPY Enterprise' security management interface. The left sidebar contains a tree view with categories like 'Enterprise機能設計', '管理サーバ設定', 'セキュリティ設定', 'ログ設定', '通知設定', 'Enterprise生成/更新', and 'Enterprise管理'. The main area is divided into several sections: '権限/セキュリティ設定関連', '識別子', 'フィルターリスト', '権限・グループ設定', and 'INSTANTCOPY 基本設定'. Red callout boxes with arrows point to specific elements in the interface, each accompanied by a text box explaining the step.

Tips7の手順1 「権限名の設定」

Tips7の手順2 「NGワードを設定」

Tips7の手順3 「印刷など出力に関する設定」

Tips7の手順3 「印刷など出力に関する設定」

Tips7の手順3 「印刷など出力に関する設定」

マニュアル「セキュリティ機能使用手引書」「5.1.4.4 使用制限設定」

マニュアル「セキュリティ機能使用手引書」「2.2.2.6 専有キー設定」

マニュアル「セキュリティ機能使用手引書」「2.2.2.7 基本設定の読込」

マニュアル「セキュリティ機能使用手引書」
•機能説明 ⇒ 「 2.2.3.2 利用者グループごとの権限設定」
•操作方法詳細 ⇒ 「 5.1.5 権限・グループ設定画面」

セキュリティ機能の設定値を確認してみよう (4/5)

【例1】Tips6の設定例をもとに、権限名「一般(ordinary)」、レベル「1(低)」の表示画面を説明します。
セキュリティ制限：特定文字列を設定。 制限時の動作：注意喚起で業務続行。

【権限名】

- 3つの権限、「管理者(admin)」「一般(ordinary)」「ゲスト(guest)」

【レベル 1(低)の場合】
制限操作時に

- 出力先（プリンター、イメージファイルなど）は全て、「許可」
- 制限透かし文字は、すべての出力先で「印字あり」
- 制限操作時に、利用者にアラート通知は「なし」

【取得対象の使用制限】

- デスクトップ全体、アクティブウィンドウ、オブジェクトは「許可」

【出力先の使用制限】

- プリンター、イメージファイル、クリップボード(画像)、Excel、Word は「許可」

【透かし文字設定】

- 制限操作時に出力される透かし文字は下記「コピー禁止」の文字列と「日付 ユーザID」

【フィルター（制限操作）】

- 画面内文字列に「社外秘」「個人情報」「印刷禁止」「住所録」がある場合、セキュリティレベルは全て、1(低)

「一般」の設定確認

取得対象の使用制限

デスクトップ全体	: 許可
アクティブウィンドウ	: 許可
アクティブウィンドウ(タイトル、枠なし)	: 許可
選択範囲	: 禁止

出力先の使用制限

プリンター	: 許可
イメージファイル	: 許可
クリップボード(画像)	: 許可
クリップボード(テキスト)	: 禁止

運用機能設定の使用制限

設定の保存	: 禁止
設定の読込	: 禁止
キーアサイン設定の変更	: 禁止
「INSTANTCOPY基本設定」情報の移出	: 禁止

INSTANTCOPYの動作制限

INSTANTCOPYの終了を制限する	: 禁止
管理サーバに接続できない場合の画面キャプチャー	: 許可

透かし文字設定

通常透かし文字①:
通常透かし文字②:
制限透かし文字③: コピー禁止

専用キー

Ctrl Shift Alt Windowsの組合せ	基本となるキー
Ctrl Shift	Print Screen
	Print Screen
	Print Screen

INSTANTCOPY 基本設定

設定名

閉じる(X)

セキュリティ機能の設定値を確認してみよう (5/5)

【例2】**Tips7**の設定例をもとに、権限名「一般(ordinary)」、**レベル「2(中)」**の表示画面を説明します。
セキュリティ制限：対象条件ごとに特定文字列を設定。 制限時の動作：情報レベルに応じた制限。

【権限名】

- ・2つの権限、「管理者(admin)」
- 「一般(ordinary)」

【レベル 2(中) の場合】
制限操作時に

- ・出力先は、**プリンターのみ「許可」**
- ・制限透かし文字は、出力先が**プリンター**の場合**「印字あり」**
- ・制限操作時に、利用者にアラート通知は**「あり」**

【取得対象の使用制限】

- ・**デスクトップ全体、アクティブウィンドウ、オブジェクトは「許可」**

【出力先の使用制限】

- ・**プリンター、イメージファイル、クリップボード(画像)、Excel、Word は「許可」**

【透かし文字設定】

- ・**制限操作時に出力される透かし文字は下記「コピー禁止」の文字列と「日付 ユーザID」**

【フィルター (制限操作)】

- ・タイトルもしくは画面内文字列に「**マイナンバー**」がある場合、セキュリティレベルは**3(高)**
- ・画面内文字列に「**社外秘**」がある場合、セキュリティレベルは**2(中)**

「一般」の設定確認

取得対象の使用制限

デスクトップ全体	: 許可
アクティブウィンドウ	: 許可
アクティブウィンドウ(タイトル、枠なし)	: 許可
選択範囲	: 禁止

出力先の使用制限

プリンター	: 許可
イメージファイル	: 許可
クリップボード(画像)	: 許可
クリップボード(テキスト)	: 禁止

運用機能設定の使用制限

設定の保存	: 禁止
設定の読込	: 禁止
キーサイン設定の変更	: 禁止
「INSTANTCOPY基本設定」情報の移出	: 禁止

INSTANTCOPYの動作制限

INSTANTCOPYの終了を制限する	: 禁止
管理サーバに接続できない場合の画面キャプチャー	: 許可

透かし文字設定

通常透かし文字①:	
通常透かし文字②:	
制限透かし文字③:	コピー禁止

INSTANTCOPY 基本設定

設定名	
-----	--